

学位論文提出の手引き

(課程博士)

2008年8月

帯広畜産大学 大学院畜産学研究科
博士後期課程 畜産衛生学専攻

課程博士

○ 学位申請資格について

- A 標準修業年限（3年）の最終年次の在学者
 - B 標準修業年限（3年）在学して学位論文を提出し退学する者
 - C 標準修業年限（3年）を超えて在学している者
 - D 標準修業年限（3年）未満で学位論文を提出する在学者（短期修了）
1. 上記のA～Dの在学者は、学位論文提出時の1年半前から1年前までの期間に実施される中間発表会において発表を行った者であること。
 2. 上記A～Cは、講義10単位以上、演習10単位、計20単位以上を取得した者であること。
 3. 上記Bの在学者の場合は、その年次の終わりの日（9月30日又は3月31日）までに学位論文を提出すること。退学後の、論文受理の可否は、提出を受けた日以後のもっとも近い教育研究評議会で審議される。受理後審査が1年以内に終了した者は退学の日に遡及して課程修了が認定され学位が授与される。
 4. 上記Dの在学者は、本研究科に1年以上在学し、講義10単位以上、演習10単位、計20単位以上（見込みを含む）を取得し特に優れた研究業績を上げ、主指導教員が推薦した者であること。

○ 学位論文について

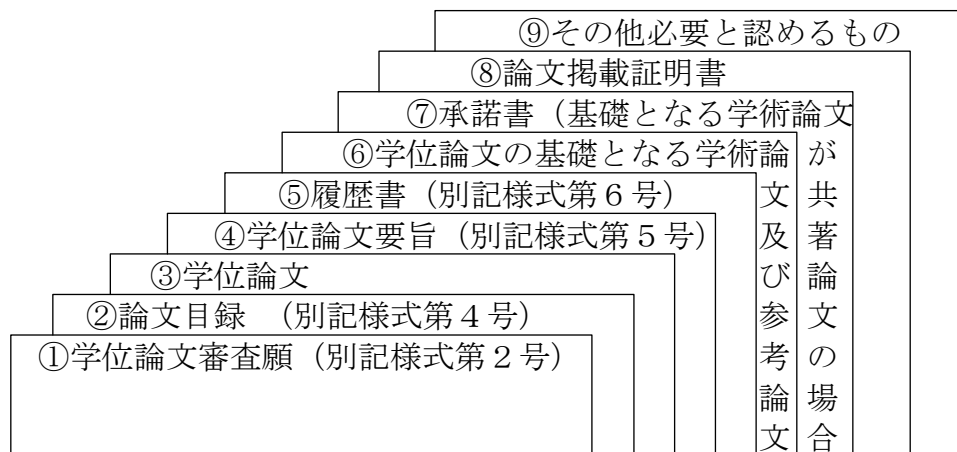
1. 学位論文は、単著であること。
2. 学位論文の基礎となる学術論文（単著論文、あるいは共著論文のうち筆頭著者である論文）（以下「基礎となる学術論文」という）を1編以上有するものとする。
3. 基礎となる学術論文は、審査制度の確立されている学術雑誌に掲載あるいは掲載が決定されたものであること。
学術雑誌とは、**Current Contents**に採録されている雑誌あるいは各専門領域において評価の高い雑誌等を指すものとする。
4. 基礎となる学術論文は、本学博士後期課程在学中に掲載されたもの、又は掲載が決定されたものとする。また、学位申請時に印刷公表されていない場合は、「論文掲載証明書」（発信元、日付が確認できる場合は、FAX、E-mailの写しでも可）を提出することで、公表されるものとして取り扱うこととする。なお、「論文掲載証明書」は「本人の氏名、学術雑誌名、論文名、Vol. No、発行年月日」等が確認できること。
5. 基礎となる学術論文のうち、共著のものについては、申請者以外の共著者が学位申請の基礎となる学術論文として使わない旨の承諾書（別記様式第7号）を添付すること。

6. 論文目録（別記様式第4号）は、学位論文及び基礎となる学術論文ごとに発表年代順に列記するものとする。なお、参考論文がある場合には、基礎となる学術論文の次に列記するものとする。
7. 審査委員会は、公開の審査会を開催するものとする。

○ 提出書類について

提出書類	提出部数
① 学位論文審査願（別記様式第2号）	1部
② 論文目録（別記様式第4号）	6部
③ 学位論文	正本1・副本5部
④ 学位論文要旨（別記様式第5号）	6部
⑤ 履歴書（別記様式第6号）	1部
⑥ 学位論文の基礎となる学術論文及び参考論文	各6部
⑦ 承諾書（別記様式第7号） （基礎となる学術論文が共著である場合は、添付すること。）	各1部
⑧ 論文掲載証明書（「学位論文の基礎となる学術論文」が、 印刷公表されていない場合に添付すること。）	各6部
⑨ その他必要と認めるもの	

- 注1：上記の正本・副本はそれぞれ下記の順番にクリップ等で仮綴じして提出すること。
 2：副本は審査委員の数と同様とする。（上記は、審査委員が5名の場合）



注：①，⑤，⑦は正本のみ

○ 提出時期について

学位申請の日程表は、毎年度4月に公表する。

1. 提出資格Aに該当する者
最終年次の申請期日，学長が別途指示する日までに提出すること。
申請期日は，主指導教員宛に通知する。
2. 提出資格Bに該当する者
最終年次の申請期日までに学位論文を提出できなかった者でも，その年次の終わりの日（9月30日又は3月31日）までに提出して退学する。
3. 提出資格Cに該当する者
随時提出することができる。なお，各年度のはじめに公表される申請期日を確認の上，遅れないように提出すること。
4. 提出資格Dに該当する者
初年時又は2年次以降の以降の申請期日に遅れないように提出すること。

○学位論文審査結果報告後について

審査に合格した学位授与認定者は，学位記授与式の1週間前までに製本済論文3部を提出すること。（学位論文の製本については，別紙1を参照のこと。）

別記様式第2号（第7条関係）

学 位 論 文 審 査 願

年 月 日

国立大学法人帯広畜産大学長 殿

帯広畜産大学大学院畜産学研究科

_____専攻_____課程

学籍番号_____

氏 名_____印

国立大学法人帯広畜産大学学位規程第5条第2項の規定により，博士（畜産衛生学）の学位論文（正本1・副本5部）に下記の書類を添えて提出しますので，審査願います。

記

- | | | |
|---|----------------------|-----|
| 1 | 論 文 目 録 | 6 部 |
| 2 | 学位論文要旨 | 6 部 |
| 3 | 履 歴 書 | 1 部 |
| 4 | 学位論文の基礎となる学術論文及び参考論文 | 各6部 |
| 5 | 承 諾 書 | 各1部 |
| 6 | 論文掲載証明書 | 各6部 |

主指導教員氏名	印
---------	---

別記様式第4号（第4条，第7条，第9条関係）

論 文 目 録

学位論文

題 目

学位論文の基礎となる学術論文

題 目

著者名

学術雑誌名

(巻・号・頁)

発行年月

に発表・発表予定

(. . ~)

年 月

参考論文

題 目

著者名

学術雑誌名

(巻・号・頁)

発行年月

に発表・発表予定

(. . ~)

年 月

年 月 日

学位申請者 氏名（自署）

- 備考 1 論文題目が外国語の場合には，和訳を付すること。
2 学術論文等が2種以上あるときは，列記し，現物に番号を付すること。

別記様式第4号（第4条，第7条，第9条関係）（記入例）

論文目録

学位論文

題目 Study on Obihiro University.
(○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○に関する研究)

注1：題目が英語の場合には，和訳を付すること。また，題目が日本語の場合には，英訳を付すること

学位論文の基礎となる学術論文

注2：申請者＝筆頭著者とす

題目 Effect of the dominant follicle aspiration before or after Luteinizing Hormone surge on the corpus luteum formation in the cow.
著者名 Tarou T, Hanako S, Yousuke T, Sakashita G.
学術雑誌名 Journal of Reproduction and Development に発表・発表予定
(巻・号・頁) (60 ・ 1 ・ 110 ～ 116)
発行年月 2009年 4月 (論文掲載証明書)

注3：掲載が決定されているが印刷公表されていない場合には，(論文掲載証明書)と記載し，別途添付する。

題目 Expression and localization of apelin and its receptor APJ in the bovine corpus luteum during the estrous cycle and PGF2 α -induced luteolysis.
著者名 Tarou T, Yousuke T, Youhei S, Hanako S.
学術雑誌名 Reproduction に発表・~~発表予定~~
(巻・号・頁) (135 ・ 4 ・ 519 ～ 525)
発行年月 2008年 4月

参考論文

注4：参考論文とは，学位論文の基礎となる学術論文以外のもので，申請者が著者として加わった論文のこと。記載方法・印刷公表されていない場合の取り扱いは，学位論文の基礎となる学術論文と同じとす

題目 ○○○○○○○○○○○○○

著者名 佐藤 花子・十勝 太郎・鈴木 洋平
学術雑誌名 北海道畜産学会報 に発表・~~発表予定~~
(巻・号・頁) (60 ・ 2 ・ 54 ～ 60)
発行年月 2008年 1月

題 目 ○○○○○○○○○○○

著者名 佐藤 花子・田中 洋介・十勝 太郎・坂下 五郎

学術雑誌名 日本畜産学会報 に発表・~~発表予定~~

(巻・号・頁) (55 ・ 1 ・ 10 ～ 14)

発行年月 2006年 10月

年 月 日

学位申請者 氏名 (自署)

- 備考 1 論文題目が外国語の場合には、和訳を付すること。
2 学術論文等が2種以上あるときは、列記し、現物に番号を付すること。

別記様式第5号（第4条，第7条，第9条関係）

学 位 論 文 要 旨

_____専攻_____課程

学籍番号_____

氏 名_____印

論文題目：.....

.....

.....

要旨

- (備考) 1. 学位論文の題目が英語の場合は，和訳を（ ）書きにして記入すること。
日本語の場合は，英訳を（ ）書きにして記入すること。
2. 日本語の場合は，2,000字程度とする。
3. 英語の場合は，1,200語程度とする。
4. 図表は，この要旨には記載しないこととする。
5. 枚数は1枚を超えても差し支えない。

別記様式第6号（第7条，第9条関係）

履 歴 書

ふりがな
氏 名

（性別： ）

生年月日

年 月 日生

本 籍

現 住 所 〒

電話（ ） ー

学歴（高等学校卒業以後の学歴を年代順に記入する。）

年 月

事

項

研究歴（研究期間・研究内容等を年代順に記入する。）

年 月

事

項

職 歴

年 月 日

事

項

学会及び社会における活動状況

年 月

事

項

賞 罰

年 月

事

項

上記のとおり相違ありません。

年 月 日

氏名（自署）

別記様式第7号（第7条，第9条関係）

承 諾 書

年 月 日

国立大学法人帯広畜産大学長 殿

共著者氏名 印

所属・職名

論文題目

学術雑誌名 に発表

(巻・号・頁) (. . ~)

発行年月 年 月

上記論文を 氏が，帯広畜産大学大学院畜産学研究科へ博士（畜産衛生学）の学位申請論文として提出することを承諾します。

なお，当該論文は，学位申請の基礎となる学術論文として過去において使用せず，また，将来においても使用しません。

別紙 1

学位論文の製本について

1. 製本の体裁

- 1) 表紙は、ハードカバー、色は黒、左開き上製本とする。
- 2) 表紙の文字は、金色とし、箔押しとする。
- 3) 使用する文字は、全て英文でも差し支えない。
- 4) 年号については、学位授与が決定された日が属する年号とする。

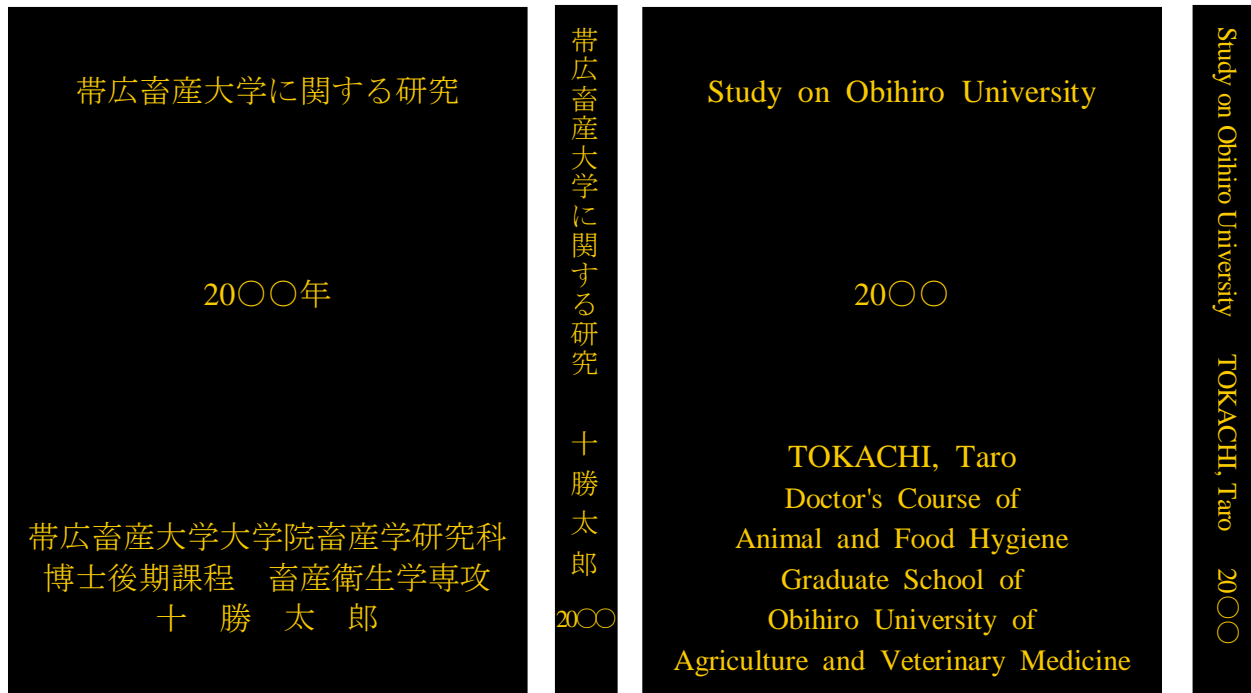
2. 提出部数

3部（内訳：国立国会図書館、本学図書館、主査）

3. 提出期限

学位記授与式の1週間前まで

（ハードカバー表紙および背表紙（例）—A4判）



（注） 1：欧文での氏名の書き方

- ① Taro Tokachi
- ② Taro TOKACHI
- ③ TOKACHI Taro
- ④ Tokachi, Taro
- ⑤ TOKACHI, TARO

以上で④と⑤は、姓の倒置を明示するため、姓の後にカンマが必要となる。

2：背表紙については、上から「論文題目」「氏名」「西暦年」とする。